

家畜衛生情報

香 川 県 畜 産 課
 TEL(087)832-3426~8 FAX(087)806-0204
 香 川 県 東 部 家 畜 保 健 衛 生 所
 TEL(087)898-1121 FAX(087)898-9558
 香 川 県 西 部 家 畜 保 健 衛 生 所
 TEL(0877)62-0020 FAX(0877)62-3299

「飼養衛生管理支援システム」の運用が開始しています 令和6年度全国家畜衛生主任者会議から

農林水産省では、農林水産行政サービスのデジタル化を推進しており、生産者からの様々な手続き（法令に基づく申請、補助金・交付金の申請等）を一元的に対応できるシステムによって、申請者がいつでも電子申請が可能となるなど、利便性の向上を目指しています。

同省は、今年度から「飼養衛生管理支援システム」の運用を開始しています。

本システムは、「定期の報告に係る業務」、「家畜の伝染性疾病の発生予防及びまん延防止に係る業務（家きん及び豚等における飼養衛生管理基準の自己点検、病性鑑定（発生速報、月報等を含む）、豚熱予防的ワクチンの接種状況の報告）」等に利用されます。

現在、農場台帳（農場名、農場の住所、家畜の所有者名、畜種等）の登録が可能となっており、10月からは家きんの自己点検（一斉点検）の電子申請が開始予定です。さらに、令和7年2月の定期報告は、全畜種を対象に電子申請が開始予定ですので、電子申請の希望がありましたら、家畜保健衛生所にお問い合わせください。

家畜伝染病・伝染性疾病発生状況（近県）

疾病名	畜種	発生場所	発生時期	発生延べ戸数	発生頭羽数 (蜜蜂は群数)
高病原性鳥インフルエンザ（法定）	鶏	広島県、香川県	R6.2~R6.3	2	15
牛伝染性リンパ腫（届出） （旧：牛白血病）	牛	兵庫県、鳥取県、島根県、 岡山県、広島県、山口県、 徳島県、香川県、愛媛県、 高知県	R6.2~R6.4	96	115
破傷風（届出）	牛	鳥取県	R6.4	1	1
気腫疽（届出）	牛	兵庫県	R6.3	1	1
豚丹毒（届出）	豚	兵庫県、鳥取県、島根県、 広島県、徳島県、香川県、 愛媛県、高知県	R6.2~R6.4	14	25
サルモネラ症（届出）	豚	愛媛県	R6.2	1	3
マレック症（届出）	鶏	高知県	R6.3	1	1
アカリダニ症（届出）	蜜蜂	兵庫県、鳥取県、徳島県、 愛媛県	R6.3~R6.4	6	7
ノゼマ症	蜜蜂	愛媛県	R6.4	1	4

牛伝染性リンパ腫について 家畜衛生講習会（牛疾病特殊講習会）から

牛伝染性リンパ腫（2020年に「牛白血病」から改名されました）は、主にウイルス（BLV）を原因とし、リンパ肉腫（腫瘍）を主徴とする牛・水牛の届出伝染病です。BLV感染牛のうち発症するのは数%ですが、一度感染すると生涯ウイルスを保有するキャリアとなり、集団に伝播させます。発症すると削瘦、下痢、体表リンパ節の腫大等の症状を呈し全廃牛になるなど、飼養農家にとって大きな経済的被害を与えます。発生数は年々増加しており、2023年の届出頭数は全国で4,492頭でした。BLVを含む血液や乳汁を介して感染しますが、治療法やワクチンがないため、対策は感染防御が基本となります。2015年に策定されたガイドラインには、以下のように示されています。

○ 人為的な伝播の抑制

注射針、直検手袋の確実な交換

除角、削蹄、耳標装着等出血を伴う処置への対応：確実な止血、器具の洗浄・消毒

○ 垂直感染及び水平感染の防止

分娩・哺乳時等の作業による感染ルートの遮断：初乳の加熱や凍結など適切な処理

吸血昆虫対策：防虫ネット設置等

農場における牛の配置：感染牛と非感染牛の分離飼養等

日常作業における順序：作業は非感染牛群から開始する等

まずは、検査により自農場の浸潤状況を把握し、対策に取り組みましょう。

豚繁殖・呼吸障害症候群（PRRS）について 家畜衛生講習会（豚疾病特殊講習会）から

豚繁殖・呼吸障害症候群（PRRS）は30年以上前に日本に侵入したウイルス病で、母豚では妊娠後期の流死産や虚弱子の産出が増え、離乳・肥育豚では呼吸器障害により事故率が上昇します。近年、関東や四国で遺伝子グループクラスターⅣのウイルスによる感染が報告されていますが、これまでの他の遺伝子グループのウイルスに比べると、臨床症状が顕著で被害が大きくなります。

○ PRRS に対する免疫

PRRS ワクチンは繁殖成績や子豚の生存率を改善しますが、感染や発症を防ぐことはできません。これは、ワクチン株と農場内の野外株が遺伝子的に異なり、免疫の網をすり抜けるためです。同じようにウイルス陽性農場に別の野外株が侵入した場合、従来の株に対する免疫があっても、新たに侵入した株には効果がなく、農場に深刻な被害を起こすことがあります。

○ PRRS 対策

陰性農場であれ、陽性農場であれ、新たに野外株を侵入させないことが重要です。そのためには、出荷トラックや堆肥搬出車などの消毒、従事者の更衣や長靴の交換といった飼養衛生管理基準の遵守を徹底してください。また、陽性農場で本病を制御するには、感染状況を正しく把握することが必要です。抗体検査やPCR検査でウイルスの動いているステージを調たり、サーコウイルスやマイコプラズマなどの二次感染の有無を調べるなど、農場に応じた対策を講じる必要があります。

養鶏場の野生動物対策について 家畜衛生講習会（鶏疾病特殊講習会）から

日頃から、畜舎にカラスやスズメ、イタチなどの野生動物が侵入しないよう対策を取られていると思います。ネットの補修や穴の修繕など、日々の管理が大変ではありますが、野生動物対策の重要性を改めてお伝えします。

○ 野生動物の侵入経路

野生動物は小さなすき間や普段見えない穴から容易に入ってきます。畜舎にクモの巣やホコリの無い穴・網目があれば、そこから入ってきている可能性が高いです。また、人間の活動している間は畜舎に入ってこなくても、夜間に侵入していることがあります。過去の鳥インフルエンザ発生農場においても、飼養者が野生動物の侵入はないと信じていても、夜間カメラを設置すると、排水溝やネットのすき間から頻繁にスズメが入っていることが確認されており、私たちが信じている以上に、畜舎には野生動物が入ってきているため、目に見えるすき間や穴はできる限り塞ぐことが重要です。

○ 野生動物はどのくらい鳥インフルエンザウイルスを運ぶのか？

★スズメ 鳥インフルエンザウイルスに感染しやすく、死亡率が高いです。また、死亡直前まで元気に活動し、口からウイルスをたくさん排出します。スズメの鶏舎内への侵入は、発生リスクとなります。

★イタチ 鳥インフルエンザウイルスに感染した野鳥を食べることで感染し、口や鼻からウイルスをたくさん排出します。また、糞からもウイルスが確認されています。イタチもスズメと同様、発生リスクとなります。

新人だより

はじめまして。令和6年4月から香川県に採用され、西部家畜保健衛生所に配属となりました岡和奈（おか わかな）と申します。出身は高松市で、鳥取大学に進学しました。鳥取では、大きな雪だるまを作ったり砂丘で走り回ったりと面白い経験ができました。また、ハタハタやモサエビなどの魚介類やキノコ類、ねばりっこ（ながいも）など美味しい食べ物を堪能し、苦手だったシイタケや生魚も徐々に食べられるようになりました。大学生活の半分がコロナ期間でしたが、楽しく充実した6年間を過ごすことができました。

西部家保に配属されて4か月が経ちますが、初めてのことや知らないことばかりです。しかし、周りの方のサポートのおかげで少しずつですが、仕事に慣れてきています。経験も乏しく未熟者の私ですが、これから少しでも皆様のお役に立てるよう精進してまいりますので、よろしく願いいたします。



コロナ期間が明け、熊本県に遊びに行った時の写真です。日々の疲れをたくさんの犬に癒してもらいました。

お知らせ

○令和6年度第88回香川県畜産共進会の開催日程について

乳用牛（第1部）・肉用種牛（第2部）：11月13日（水）、14日（木）

（於）香川県家畜市場 綾歌郡綾川町

肉豚（第3部）：11月1日（金）、2日（土）

（於）株式会社香川県畜産公社 坂出市昭和町

肉牛（第4部）：12月4日（水）、12月6日（金）

（於）坂出食肉地方卸売市場 坂出市昭和町